

平成25年(2013年)3月17日(日曜日)

金川 新 路

地域ブランド化大切

帝国データバンク
伊藤参与が講演

路



商品の付加価値の重要性を訴えた伊藤氏

中小企業経営者による異業種交流、経済研修団体の釧路あすなろクラブ(菊池吉郎会長)は14日、釧路キヤッスルホテルで3月例会を開いた。帝国データバンク参与の伊藤辰夫氏を講師に招き、地域経済活性化のための付加価値などについて考えた。

伊藤氏は「地域を元気に―地域価値の向上について」と題して講演した。釧路市の人口が1980年の約22万人をピークに減少へ転じ、2010年には約18万人となったことを紹介。「人口は毎年2000人ずつ減っており、2015年には約17万人と予想されている。生産人口をいかに確保するかが地域の課題」と話した。

地域経済活性化の方策として、伊藤氏はシヤマやトキシラズなど、地域ブランド化を評価。サントリー「伊右衛門」やサッポロ「エビスビール」、京都や富良野の地域イメージなど付加価値を例に出し、「今までは良い物を作ればよかつたが、豊かになった世の中では不十分。作りの思いや商品開発の物語を消費者に伝え認識させることが大切」と訴えていた。

(花城護)